

第43回
大阪はぐるま研究集会 ご案内
主催大阪はぐるま研究会

子どもの心を育む教室と授業づくりをめざして

1. 期日 2017年8月5日(土)・6日(日)
2. 会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター) Tel 06-6942-0001
京阪「天満橋」・地下鉄谷町線「天満橋」西へ300m

3. 日程

	9:00	9:30	12:00	1:10	4:40
第一日 (8月5日)	受付	全体会 (詩、基調提案特別報告)	昼食 休憩	分科会 (9分科会)	
第二日 (8月6日)	受付	分科会 (9分科会)	昼食 休憩	全体会 (詩、サークル報告、模擬授業、 記念講演)	

全体会 (第一日午前 9:30 ~ 12:00 第二日午後 1:10 ~ 4:40)

第一日 ☆詩の朗読豊能授業と教材研究会・箕面はぐるま研松尾千佳子・三島篤美

1. 主催者あいさつ
2. 基調提案

「子どもの認識力を育て、深める授業の創造を！」

大阪はぐるま研究会 事務局長 辻まち子

3. 特別報告 1

「改訂学習指導要領の重大な問題点と私たちの課題」

大阪教育文化センター 事務局長 山口隆さん

特別報告 2

「部落問題解決の到達点と今日的課題」

民主主義と人権を守る府民連合 委員長 谷口正暁さん

第二日 ☆詩の朗読豊能授業と教材研究会・箕面はぐるま研松尾千佳子・三島篤美

1. 地域サークルからの報告泉南はぐるま研究会
2. 模擬授業

「ちいちゃんのかげおくり」(あまんきみこ作)(光村図書3年)

授業者泉南はぐるま研究会佐藤秀一

3. 記念講演

「物語の力」

朝日新聞 「声」編集次長 佐々波幸子^{さざなみゆきこ}さん

分科会

[] は担当サークル・担当者

8月5日（土）午後 1:10～4:40 8月6日（日）午前 9:30～12:00

■物語文

【りすのわすれもの】（松谷みよ子作）（教育出版 1 年下）

りすがわすれものをしたおかげで、後々のりすが命をつないでいけるという心あたたまるお話です。りすのさんたのかわいさと成長に共感しながら参加された皆さんと読み深めていきたいと思います。

[和泉どの子も伸びるサークルたんぼぼ]

【かさごじぞう】（岩崎京子作）（東京書籍教育出版・学校図書・三省堂各 2 年）

ふぶきの中、出会った地蔵さまに「おお、きのどくにな。さぞつめたかろうのう」と、自分のてぬぐいまでかぶせるじさまの想像力。極限の貧しさの中でも、お互いを思いやり、あかるく心豊かにお正月を迎えようとするじさまとばさまの言葉と行動に寄り添ってじっくりと読み味わいたいです。

[和泉どの子も伸びるサークルたんぼぼ]

【ちいちゃんのかげおくり】（あまんきみこ作）（光村図書 3 年）

ちいちゃんから大切なものを奪い続けてきた戦争。それは、ちいちゃんの未来までも奪ったのです。ちいちゃんが孤独と空腹にたえながら、家族に会いたい、家族と一緒にいたいという願いを持ち続けた姿を読んでいます。

[泉南はぐるま研究会]

【世界一美しいぼくの村】（小林豊作）（東京書籍 4 年）

今まだ紛争の絶えないアフガニスタンを舞台にしたお話をどのように読み合っていくのがよいのか、また続編を続けて読み、物語を深く味わうための指導案も考えることができると思います。

[箕面はぐるま研究会]

【大造じいさんとガン】（椋嶋+作）（光村図書・東京書籍・教育出版・学校図書、三省堂各 5 年）

羽曳野はぐるま研では毎回一つの教材をじっくり読み込んで、自由に意見を言い合っています。「大造じいさんとガン」は、残雪との戦いを通して、大造じいさんの残雪に対する見方が変化していく様子を描いています。ぜひ当日も普段の羽曳野はぐるま研のように自由な雰囲気教材を読めたらいいなと思います。

[羽曳野はぐるま研究会]

【海の命】（立松和平作）（光村図書・東京書籍 6 年〈東京書籍＝海のいのち〉）

父を失った太一が、与吉じいさんにも助けられながら、村一番の漁師へと成長し、幸せな家庭も築くという太一の成長の姿と海に生きる漁師の海に対する思いを読み合います。

[泉南はぐるま研究会]

■説明文 8月5日(土)午後1:10～4:40 8月6日(日)午前9:30～12:00

【ウナギのなぞを追って】(塚本勝巳文)(光村図書4年)

説明文の学習を確かに、楽しく進めるためには、教材の特質をとらえることが必要です、なぞに包まれていたウナギの生態を明らかにするため、マリアナの海で調査をして卵を産む場所を探していく様子は科学的な読み物としてもおもしろいです。みなさんと一緒に教材研究を深め、二日目は授業の進め方を考えていきましょう。

[箕面はぐるま研究会]

■人権と社会科

そもそも「部落問題」とは、「部落問題の解決」とは、どういうことなのでしょう？また、部落問題の教科書の記述に問題はないのでしょうか？さらに昨年国会で通過した「部落差別解消法」をどう考えればいいのでしょうか？社会科は、ともに4年生の実践です。瀬川実践は地域の開発を取り上げた報告、志村実践は少人数を生かした総合的な報告です。

▼8月5日(土)午後1:10～4:40

・「教科書の中の部落問題」[柏木功] ・「琵琶湖疎水」[瀬川靖央](京都)

▼8月6日(日)午前9:30～12:00

・「部落差別解消法」と学校教育[柏木功]

・「思い出いっぱい1/2成人式」-小さな学校のすてきな4人-[志村誠]

■学級づくり 8月5日(土)午後1:10～4:40 8月6日(日)午前9:30～12:00

作文や文学で、子どもいきいき学級作り、具体的な作文の授業も交えて、青年教師が報告します。今日大きな問題になっている「いじめ問題」や保護者との連携、子どもが主人公の集団づくり、そして先生が元気になれる秘訣を語ります。

[細野翔太][土佐いく子]

—佐々波幸子さんご紹介—

1991年朝日新聞社に入社。子育て、介護、子どもの本などをテーマに取材を重ね、生活面、bc、文化庁、読書面担当を経て、4月から読者の投稿を扱う「声」編集次長。子どもの本にまつわる記事を1冊にまとめた『生きてごらん、大丈夫』を昨年出版。

〈佐々波さんからのメッセージ〉すぐれた子どもの本は「大きくなるって楽しいことだよ。生きてごらん、大丈夫」と背中を押してくれるもの—『グド戦記』を翻訳した清水員砂子さんの言葉です。みなさんにも、子どもの頃に読んでもらった絵本や自分で繰り返し読んだ本の中に、支えとなった一冊があるのではないのでしょうか。私自身は、友だちと探偵団をつくるきっかけとなった『カッレくんの冒険』が思い浮かびます。引っ込み思案だった私に、前に出て行く力を与えてくれた一冊ともいえそうです。東日本大震災から1カ月後、岩手県大船渡市の保育所で、『はらぺこあおむし』に夢中になる子どもたちに出会いました。本の力を目の当たりにした体験でした。当日は、そうした物語の力や、取材で出会った作家の方々のことばをお伝えできたらと思います。みなさんの「わたしの一冊」を、お持ちいただけたらうれしいです。

参加申し込みについて

1. 参加費 3000 円（学生及び一日参加は 2000 円）（当日受付でお納めください。）
2. 申し込み ハガキ・Fax・E-mail で「予約申し込み」をしてください。予約受付と同時に折り返し自宅住所に「参加票」をお送りします。会場は定員が決められているので、当日参加の場合、ご希望の分科会に入っていないことがあります。資料を確保するためにも、ぜひとも予約申し込みにご協力ください。定員は各分科会とも 18 名です。

申し込みの際は、①氏名②郵便番号、自宅住所、電話番号③勤務先④参加希望分科会（第 1 希望、第 2 希望）をご記入ください。

3. 締め切り 7 月 29 日（土）

4. 申込先 〒590-0423 泉南郡熊取町自由が丘 2-15-13 辻まち子
E-mail machik0-tSuji@ares.eonet.ne.jp
Tel&Fax 072-453-5214

◇集会ミニ紹介

☆地域サークルからの報告

大阪はぐるま研究会の地域サークルの一つ、「泉南はぐるま研究会」。月に 1 回、研究会を開き、クラスのこと、子どものこと、学校のことよく話し合っています。

☆模擬授業

第 10 回研究集会から続けている模擬授業です。全体集会参加者が、児童・生徒役になって、授業形式で教材を読み合います。今回は、『ちいちゃんのかげおくり』（光村図書 3 年あまんきみこ作）を取り上げます。

☆分科会

参加者全員で話し合い、考え合い、学び合い、その教材について読みを深めていく集団研究の場です。担当サークル・担当者が話題・問題提供いたします。1 日目は 3 時間半、2 日目は 2 時間半と、時間設定に差があります。2 日目だけの分科会は時間が少ないですが、ご了承ください。

☆特別報告 1 昨年に続いて、山口隆さんに話していただきます。山口さんは現在、大阪教育文化センターの事務局長としてたいへん活躍されています。

特別報告 2 谷口正暁さんは大阪府同和問題解決推進審議会委員であり、大阪市同和問題に関する有識者会議委員でもあります。同和問題の現状と課題について話していただきます。

日本国憲法 第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

「教え子を戦場に送らない」この思いつよくつよく、わたしたちは平和憲法を守ります。

大阪はぐるま研究会